

安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名	: マンガンイオン測定試薬 Mn-1A AT000420
会社名	: 株式会社東洋製作所
住所	: 千葉県柏市高田 1335
担当部署	: 柏工場 品質管理課
電話番号	: 04-7143-2003
FAX 番号	: 04-7143-0684
緊急連絡電話番号	: 上記担当部署
推奨用途および使用上の制限	: マンガンイオン測定

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	: 区分外
健康に対する有害性	
急性毒性	: 区分4
皮膚腐食性・刺激性	: 区分3
皮膚感作性	: 区分1
発がん性	: 区分1

※上記で記載がない危険有害性は分類対象外または区分外、もしくは分類できない。

ラベル要素



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 飲み込むと有毒。

皮膚刺激。

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

注意書き

安全対策

: 皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

応急処置

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

廃棄

： 内容物、容器を地方、国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分
物質

： 化学物質

成分および含有量

： 塩化ヒドロキシルアンモニウム 9.1 %

水 90.9 %

化学式または構造式

： 塩化ヒドロキシルアンモニウム $\text{NH}_3\text{OH}\cdot\text{Cl}$

CAS番号

： 塩化ヒドロキシルアンモニウム 5470-11-1

官報公示整理番号

： 塩化ヒドロキシルアンモニウム 化：(1)-375

(化審法・安衛法)

4. 応急措置

吸入した場合

： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

： 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

： 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

： 口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

： 周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

火災時の特有な危険有害性

： 火災によって刺激性、有毒および/または腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

： 関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

： 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

： 関係者以外は近づけない。

保護具および緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項	: 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。 下水、排水中に流してはならない。
封じ込めおよび浄化の方法・機材 二次災害の防止策	: 不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。 漏洩物を回収する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
局所排気・全体換気	: 排気、換気設備を設ける。
注意事項	: 皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。
安全な取扱い注意事項	: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋を着用すること。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。 取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。 取扱中は飲食、喫煙してはならない。

保管

適切な保管条件	: 換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 施錠して保管すること。 乾燥した場所で密閉容器に保管すること。
---------	--

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度	: データなし。
許容濃度	: データなし。
設備対策	: 適切な換気のある場所で取扱う。 排気、換気設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 手洗い、洗顔設備を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。
眼の保護具	: 側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。
衛生対策	: 眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は、汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は、作業場から出さないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的および化学的性質

物理的状態、形状、色など	: 以下に記載のない項目は、データなし。
pH	: 無色の液体。
溶解度	: 酸性。
水に対する溶解度	: 83g/100mL(17℃)。
燃焼性（固体、ガス）	: 不燃性。

10. 安定性および反応性

- 安定性 : 通常の保管条件、取扱い条件において安定である。
弱酸性である。
- 避けるべき条件 : 火源、熱、混触危険物質との接触。
- 危険有害反応可能性 : 加熱すると有害なフュームを生じる。
- 混触危険物質 : 塩基、酸化性物質。
- 危険有害分解生成物 : 窒素酸化物、塩化水素。

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 区分4。
以下データより、塩化ヒドロキシルアンモニウムとして区分3であり、本製品の塩化ヒドロキシルアンモニウム含有量は9.1%であることから、本製品の推定急性経口毒性値LD₅₀は、1,549mg/kgと推定されるため、区分4とした。
〔日本公表根拠データ〕
ラットに対するLD₅₀値(141mg/kg)(RTECS(1997))より区分3とした。
- 皮膚腐食性・刺激性 : 区分3。
以下データより、塩化ヒドロキシルアンモニウムとして区分2であり、本製品の塩化ヒドロキシルアンモニウム含有量は9.1%であることから、区分3とした。
〔日本公表根拠データ〕
Priority 2において、皮膚への刺激を示す記述(発赤、痛み)があることから(ICSC(1997))、およびEUリスク警句がR36/38であることから、区分2とした。
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 区分外。
以下データより、塩化ヒドロキシルアンモニウムとして区分2であるが、本製品の塩化ヒドロキシルアンモニウム含有量は9.1%であることから、区分外とした。
〔日本公表根拠データ〕
Priority 2において、眼への刺激を示す記述(発赤、痛み)があることから(ICSC(1997))、およびEUリスク警句がR36/38であることから、区分2A-2Bとした。
細区分を行う必要がある場合は、安全性の観点から、区分2Aとするのが望ましい。
- 呼吸器感作性 : 分類できない。
- 皮膚感作性 : 区分1。
以下データより、塩化ヒドロキシルアンモニウムとして区分1であり、本製品の塩化ヒドロキシルアンモニウム含有量は9.1%であることから、区分1とした。
〔日本公表根拠データ〕
EUリスク警句がR43であること、およびドイツMAKリストのSensitization物質(Sh)であることから、区分1とした。
- 生殖細胞変異原性 : 分類できない。
- 発がん性 : 区分1。
以下データより、塩化ヒドロキシルアンモニウムとして区分1であり、本製品の塩化ヒドロキシルアンモニウム含有量は9.1%で

	あることから、区分1とした。 [日本公表根拠データ] EU-発がん性カテゴリ 2;ヒトに対する発がん性が疑われる物質。
生殖毒性	: 分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分外。 以下データより、塩化ヒドロキシルアンモニウムとして区分2 (血液)、区分3 (気道刺激性) であるが、本製品の塩化ヒドロキシルアンモニウム含有量は9.1%であることから、区分外とした。 [日本公表根拠データ] Priority 2において、ヒトに対して「眼、皮膚、気道を刺激する。赤血球に影響を与え、メトヘモグロビンを生成することがある。」(ICSC(1997))と記述があるため、区分2(血液)、区分3 (気道刺激性) とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない。
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない。
<hr/>	
1 2. 環境影響情報	
生態毒性	: データなし。
水溶解度	: 83g/100mL(17°C) (ICSC, 1997)。 (塩化ヒドロキシルアンモニウム)
残留性/分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
土壤中の移動性	: データなし。
オゾン層有害性	: データなし。
<hr/>	
1 3. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 内容物、容器を地方、国の規則に従って廃棄すること。 廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
汚染容器および包装	: 容器は清浄にして関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
<hr/>	
1 4. 輸送上の注意	以下は、塩化ヒドロキシルアンモニウムとしての情報。
国連分類および国連番号	
国連番号	: 2923。
品名 (国連輸送名)	: その他の腐食性個体、毒性、N.O.S.。
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	: 8。
国連分類 (輸送における危険有害性副次クラス)	: 6.1。
容器等級	: III。
指針番号	: 154。
特別規定番号	: 223;274;A3;A803。
特別の安全対策	: 乾燥状態を保つ。

15. 適用法令	以下は、塩化ヒドロキシルアンモニウムとしての情報。
当該製品に特有の安全、健康、および環境に関する規則／法令	
毒物及び劇物取締法	: 劇物（令第2条）。 塩酸ヒドロキシルアミン98%（法令番号82）。
労働安全衛生法	: 該当しない。
化学物質管理促進（PRTR）法	: 該当しない。
消防法	: 第5類 自己反応性物質 危険等級I/II。
化審法	: 該当しない。
船舶安全法	: 腐食性物質 分類8。
航空法	: 腐食性物質 分類8。
適用法規情報	
道路法	; 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）。
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項に該当。

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害等に関して、保証をするものではありません。

また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、安全性を確認してからご利用ください。
